

# 平成29年度 事業計画

## 1. 基本方針（理事長：長谷川 演）

視点を大きく広げ、日本のデザイン業界の一角を担う立場としての意義あるポジションの確立を目指します。

JCDが今まで形にしてきた様々なアプローチをベースに業界全体との連携、協力も踏まえデザインの力での社会貢献へ繋がります。私達がすべきこと、私達でなければ出来ないこと。行動と共に結果を積み上げてゆきます。

## 2. 主要事業計画の概要

（1）事業部（部長：窪田 茂）（委員長会議議長：大滝道晴）

①デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

JCD デザインアワード 2017

- 2月14日 JCD デザイン賞委員会/29年度デザイン賞委員会スタート
  - ・1次、2次審査員検討
  - ・2次公開審査実施日時決定
- 2月中旬
  - ・2次審査員の決定
  - ・応募要綱作成
  - ・メディアへ告知依頼
  - ・海外デザイン協会への告知検討
- 4月1日 公式サイトアップ
- 4月1日～5月23日 応募期間
- 5月26日 1次審査員へ審査方法を伝達
- 5月27日～6月3日 1次審査期間（インターネット審査）
- 6月6日 JCD デザイン賞委員会
  - ・BEST100 決定
- 6月7日
  - ・応募者へ結果通知
  - ・六耀社へ BEST100 通知
- 6月7日～6月20日 パネル製作期間
- 7月1日 2次公開審査会  
会場：東京デザインセンター  
各賞（大賞1点、金賞5点前後、銀賞10点前後、審査員賞・新人賞・副賞数点）  
写真選定
- 7月3日
  - ・受賞者に結果通知
  - ・HPにて結果公開
  - ・六耀社・メディアへ結果通

8月末 JCD デザイン賞委員会

・贈賞式内容検討

11月10日 ・JCD デザインアワード2017 贈賞式

・デザインメッセージ2017

## ② Soda 委員会(委員長：新藤 力)

Soda 委員会は昨年業務委員会から独立した組織体として、意識を新たに、活動のパワーアップを図っていききたいと考えています。

### 【Soda 本出版】

今年度前期は、JCD の教育面での活動を広く周知し、今後様々な団体・学校・協賛企業からの支援・交流を促進させることを目的に、昨年度より編纂を進めていた Soda 本の出版を目指しています。教育関係者・自治体・業界関連団体・JCD 関連・学会のほか一般への販売も視野に、収益を見込めるものにいたします。この本による JCD 会員と子供たちとのデザインコラボレーション活動の提示は、新規会員の入会動機・活動動機の一つになると思います。また、この出版を機に Soda 活動を支えていただいた賛助会員企業の皆様に、Soda 委員会からの謝意を示したいと考えています。

### 【ワークショップ】

出前授業形式・タイアップ形式のワークショップにつきましては、引き続き全国支部と連携して全国での継続的な開催を目指します。昨年度チャレンジいたしました、各種イベントにおいて対象年齢を問わず短時間で完成できる“屋台型”ワークショップにつきましても、プログラムの成熟・多様化を目指します。また、(一社)日本建築学会、(一社)日本空間デザイン協会など関連団体とも相互の活動協力と交流を図ってまいります。昨年度、海外の日本人学校での開催の可能性についてヒヤリングを開始いたしました。対外的な発信力を高めることを目的に「Soda・JCD 賞」の創設につきましても協議したいと考えています。

Soda 活動は正会員・賛助会員の協働により成立している活動です。今年度も多くの会員の皆さんが参加していただける環境をつくることに努めます。

## ③シンポジウム委員会 (委員長：窪田 茂)

### ■SECTION59 の開催

SECTION59 の開催を致します。

前回の「58」の開催は、夏頃の開催を目標にしていたものの、選挙による役員の変更や、講演者のスケジュールの都合もあり、結局2月の開催となってしまいました。

賛助会員様への協賛の依頼の時期をバランス良くしていく為には、やはり8月から9月頃に開催するのが良いため、次回の「59」はその時期を目指して開催していきたい。

同様に、シンポジウムの安定的開催を目指し、会場の固定化、協賛会社へのメリット強化、JCD の宣伝強化などを視野に入れながら、次回開催につなげたいと考えております。

また、講演者についても、時代を反映するような方々をお招きし、私たちデザイナーの刺激になるようなシンポジウムを開催したいと思います。

前年度までのコミュニケーション委員会は、シンポジウム委員会と広報委員会に分かれましたが、

広報委員会との連携を保ちながら、各種メディアを使った JCD 認知の向上、新規正会員・新規賛助会員獲得を目指しながら、シンポジウムの開催をしていきたいと思っております。

#### ④ 広報委員会（広報委員長：飯島直樹）

広報委員会は以下の活動方針のなかで「伝える」場면을推進します。

平成 29 年度はそれらが具体的なカタチとなりますので、JCD 各委員会と連動しさらに「伝える」を押し進めます。

##### 1. JCD を伝える＝クールジャパン空間版立ち上げへの協力

内閣府が運営する事業「クールジャパン」に日本の優れた空間デザインを組み込む計画が 3 月に発足しました。デザイン賞審査会場で JCD とリンクする東京デザインセンター船曳代表がプロデューサーとなり、JCD や JIPA などの団体が協力した事案です。最初のステップとして、海外の訪問者に空間デザインのクールジャパンを紹介するウェブサイトを立ち上げました。「日本の行政、他団体とのコンソーシアム」＝「JCD の広報に最も有力な場面」がスタートしたことになります。この協力事案は続行しますから、そこから新たな JCD の場面活用が期待出来ます。

##### 2. JCD を伝える＝JCD アワードの成果を世界に伝える

メディアを持たない JCD が現実的に可能な、しかも世界に伝えるメディアを獲得するために、新しい仕組みのメディアを推進する香港の「merci」との協力体制を検討しています。JCD アワードの世界への浸透、香港をハブとしたアジアのネットワーク作りに有効と思われれます。香港の盛会員も介在するので情報授受がリアルに進むこともメリット。

##### 3. JCD を伝える＝空間デザインジャンルの縦割りを越えたアライアンス

すでに計画がすすむ JCD+DSA アワードの合流は、アワードの効果促進だけではなく、将来を見据えた「空間デザインジャンル」の再指定、再構築を背景に持っています。そのことを踏まえ、年末年始に予定する大型イベント+パーティの計画に広報（＝JCD を伝える）の立ち場から関与します。ジャンルの再指定は JCD+DSA だけの問題ではありません。昨年末にはじまったインテリア系の諸団体との緩やかなアライアンスと将来のコンソーシアム事業も企画しています。（JIPA, JID, JAFICA, ICCN, SIS, OIKOS、インテリア学会、東京建築士会）

##### 4. JCD を伝える＝SHOKANKYO 誌の更新

編集方針を再検討し、配布先を拡大。JCD メディアとして検証を開始します。

#### ⑤ 国際委員会（委員長：武石正宣）

来年度の国際委員会の計画を報告致します。

今年度、新規事業はございませんが、引き続き APSDA のアソシエート化に対する対応、そして次回香港においてのイーストギャザリング参加が主なものとなります。

また新会員の盛さんの国際委員会への参加で、英語に対する対応や、香港の HKIDA とのやり取り等が、非常に潤滑になると期待しております。今年の JCD デザインアワードの、審査員にホーラス パン氏を招聘する辺りのスピードも素晴らしかったです。

APSDA への参加。

9 月に行われた、アデレードでの APSDA チェアマン会議において、APSDA をアライアンスから、アソシエーション（協会）に移行する会議がありました。長谷川理事長のサインも行き、日本は正式に JCD で APSDA に参加する事になります。他の国の動向は、ほとんどの参加国がサインを

行う中、韓国のKOSIDはまったく反応を示さないため不参加に。シンガポールは、国の認定団体が2つあるため、各国の代表団体は1つという規約があるため、年を越して調整との事。正式には今年度の4月にアソシエート化をするための最終調整業務が行われています。

#### イーストギャザリング

今年は香港の開催予定のイーストギャザリングですが、時期や詳細はまだ決まっておりません。香港での開催も3回目になるのですが、初回のBODWの中での開催や、2回目の香港科学理工大学での開催等、色々なパターンが考えられます。

予定では日本からのスピーカー2名と、学生に対するプログラムの講師、等を含めて10人程度の参加になると考えますが、日程等も未定です。

また来期は日本で行う予定であるため、緩やかに準備が必要になります。

#### ⑥賛助委員会（委員長 森川 一）

今年度も引き続き正会員と賛助会員のコミュニケーションを深める施策を立案、推進いたします。具体的活動としては

##### 1. 各支部単位での相互コミュニケーション実施のためのサポート

最新情報での各賛助会員の本部・各支部の連絡者名簿のメンテナンスを随時実施します。

##### 2. 「JCD Product of the year 2018」の実施。

12年目の新たなスタートを切ります。JCDプロダクトアワードを視野に入れた活動を行い更なる認知度UPを図ります。

過去11回実施して課題となった

○正会員の投票率の向上（かなり重要）

○新しい賛助会員の積極参加（今年は12社ほど参加していただいています。）

○会員以外の参加の検討（新規提案はまだできていません）

を図るために本年度の課題も踏まえ、各支部長様からもアイデアを頂きながら引き続き進めていきたいと考えます。

##### 3. 賛助会員拡大の為の諸方策の立案と実施サポート

正会員様と賛助会員双方のメリットがでるようお互いの交流を増やし情報交換による紹介、勧誘の更なる推進を両会員で積極的に行うことにより会員拡大へつなげたいと思います。入会実績からも正会員様からの日頃の仕事の繋がりでの勧誘、情報発信のお力添えが大きく効果を上げておりますので引き続きお願いしたいと思います。

これらの計画を更に拡大・充実するために、各支部賛助委員会を活性化していただき、支部単位での更なる交流を深めていただきたいと思います。

また、これらの活動を通じ、正会員・賛助会員の双方のメリットを明確化さらに拡充し、新規正会員・賛助会員の拡大につなげていきたと考えます。

本年度も前期同様の考え方を継続して行いたいと存じますので正会員・賛助会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

#### ⑦空間委員会（委員長：鹿目久美子）

「空間委員会」は平成28年11月12日に新設された委員会です。

「空間委員会」は飯島理事、前田正会員が理事をされておられる「空間デザイン機構」に関する業務、及び4団体のコミュニケーションをさらに強化・補佐する為に設立された委員会であると認識致しております。

当然ながら、現在まで継続して務めさせて頂いている年鑑刊行委員も業務範囲となります。

近々の活動としては、空間デザイン機構内にて「合同シンポジウムおよび交流パーティー開催準備委員会」が発足されました。

目的としては、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、更なる空間デザイン振興。日本の空間・ディスプレイデザイン団体が一丸となって国内外へ空間デザインの力を発信。次世代へ繋げるレガシーとして2020年の文化プログラムへと昇華させる。

ということで

- ・「空間デザイン機構」で現在進んでいる DSA との合同アワードの合体検討業務に対する協力をすること。
- ・継続的に、より良い年鑑発行に向け年鑑刊行委員会の活動を行うこと
- ・4団体が一丸となって国内外に発信する方法として「合同振興パーティー」開催を検討する事が話し合われました。

ワーキンググループによる顔合わせが2月23日に DSA 事務所にて開催されました。DSA 4名 SDA 3名 JCD 3名が参加したと言うところですので、実際の活動はこれからになります。

「合同振興パーティ」が開催されることになりますと、かなり大型イベント+パーティになると思われまますので、なるべく多くのデザイナー・賛助会員の方々に「空間機構のコンソーシアム」に参画をお願いしなければならないと思っております。

#### ⑧交流委員会（委員長：折原 美紀）

まだ発足したばかりですので、活動計画のみのご報告とさせていただきます。

交流委員会は会員相互や国内の他団体等との交流を主な主軸とした活動を行います。団体内の交流と結束、及び団体を越えた全国的な交流を目指し、同時に女性会員の増強にも努めたいと思っております。

具体的には

- 他団体との合同パーティの開催へのサポート
- JCD 女子会的なものを発足し、会員及び賛助会員の垣根を超えて新たなコミュニケーションの場を創出

以上です。

初めての事ばかりですが少しずつ進んでいけるように頑張ります。

#### （2）支部統括部（部長：小坂 竜）

（支部長会議議長：加藤博正）

今年度の支部長会議は、JCDのテーマである売れる商環境デザインについて論議したい。

今まで避けてきたテーマであるが、クライアントのメリットである売れる商環境デザインに行かなければならない。商環境デザインとマーチャンダイジング、売り方、難しい判断であるが、商環境デザイナーとしていかなるべきかを論議する。

#### ①北海道支部（支部長：高橋 恵）

今年度の活動方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえる活動・仲間づくり」

活動内容

2017年 4月 20日（木） 北海道支部総会・・・収支報告、活動計画、予算案承認、懇親会 等  
2017年 6月 7日（水） 運営会議・・・賛助会員企業セミナー計画、工場見学計画  
2017年 8月 2日（水） 運営会議、セミナー・・・工場見学の準備、SDW 計画 等  
2017年 9月 6日（水） 運営会議・・・北海道デザインアワード計画 等  
2017年 9月 下旬 工場見学  
2017年 10月 4日（水） 運営会議・・・北海道デザインアワード計画等  
2017年 11月 1日（水） 運営会議、セミナー・・・SDW の報告、soda 準備、Xmas 準備 等  
2017年 12月上旬 soda 桑園小学校  
2017年 12月 中旬 Design Xmas Party  
2018年 2月 7日（水） 運営会議・・・来期の事業計画等  
2018年 2月下旬 鍋塾  
2018年 3月 7日（水） 運営会議・・・収支状況の報告、支部総会計画 等

#### ②東北支部（支部長：大塚真司）

28年度に行ったいろいろな活動に対して、反省点、改善点を明確にし、29年度はより一層 JCD の活動を活発にしていきたいと思っております。正会員・賛助会員との親睦を図り、互いが協力出来る環境づくりを一番に、エネルギーに Soda 活動やデザイン発表会を開催し、デザイナーの刺激になるようにもしていきたいと思っております。また、若手デザイナーが JCD 会員になりたいと思えるイベントを考えていきます。

##### 【運営委員会】

各事業毎（Soda 活動・デザイン発表会等）に運営委員長、運営副委員長を選任し、正会員全員が主体となって事業運営をしていく仕組みを構築。

##### 【Soda 活動】

年2回を目標とし、東日本大震災の被災地域中心（岩手・宮城・福島）の小学校で開催を予定  
また、Soda の活動主旨を広く伝え、JCD の認知と正会員、賛助会員の親睦も図る。

##### 【デザインキャンプ・デザイン発表会】

東北各地区で活躍する正会員のデザイン発表会を開催し、会員相互の刺激、デザイン意識の向上と交流を図る。また、賛助会員各メーカーの工場視察など検討し、製品知識を深める。

##### 【親睦活動】

日頃の活動拠点が宮城（仙台市）地区中心になってしまう為、遠方の地区との交流を深める為、各地区での懇親会、活動報告等を実施。

##### 【活動スケジュール】

- 4月中旬 東北支部幹部会議
  - ・29年度活動計画
  - ・予算案
- 6月下旬 東北支部定時総会
  - ・地区長会議
  - ・通常総会（収支報告・活動計画・予算案等の承認）
  - ・賛助会員に依る企業、商品PR
  - ・講演会（オガールプラザ紫波 岡崎正信氏）予定
- 8月下旬 ビアパーティー開催
  - ・若手デザイナーへのJCD活動アピール
- 9月中旬 Soda 活動準備委員会に依る運営会議
- 10月中旬 デザインキャンプ・デザイン発表会開催
  - ・工場視察
  - ・賛助会員に依る企業、商品PR
  - ・正会員のデザイン発表会
- 12月 Soda 活動ワークショップ開催（1回目）
  - ・懇親会
- 1月 新年会開催
- 2月 Soda 活動ワークショップ開催（2回目）

### ③関東支部（支部長：小田 秀樹）

\* 関東支部の広報と各委員会活動への正会員・支部会員の参加を促進する。

今期は、関東支部のホームページ・Face book のクイックな更新を行ない、支部の委員会活動に正会員・支部会員の参加を促進し、JCDの活動を一般の方や学生に広報を行なう。

#### ■研究セミナー委員会：福田裕治委員長、石橋美幸副委員長

今年度も最低、4回開催を目指して鍋塾とのコラボレーションも検討する。

最後のとくトークはJCDデザインアワード受賞を対象にトークゲストとして開催予定

予定開催月：5月・8月・11月・2月・できれば最後に3月を予定します。

#### ■支部賛助委員会：品川正之委員長、奥弘史副委員長、原康喜副委員長、藤原巧副委員長、本間克典副委員長

\* 原則月1回の委員会を開催し、下記掲載の活動目標の推進を図る。

1) 関東支部正会員及び賛助会員相互のコミュニケーションの活性化を図る。

正会員の委員会への参加要請、Soda委員会への参加等。

2) 賛助会員のビジネスに寄与できるイベント等の企画をする。

賛助会員ショールーム、工場などの見学会等。

3) 賛助会員の意見を集約し、協会に意見具申する。

4) 交流を促進するための親睦イベントを企画する。

恒例のBBQ会、熱海花火大会、ゴルフ会。正会員VS賛助会員ボーリング大会等。

5) 関東支部の他委員会と連携して、関東支部のイベントのサポートにあたる。

#### ■広報委員会：古川紳太委員長、大滝道晴副委員長

※関東支部機関誌は年3回発刊予定

1) 1回目(7月末発刊予定) 総会特集・トーク・プロダクトアワード・研修旅行

Soda 委員会報告・あのことろなど

2) 2回目(夏・秋号11月中発刊予定) トクトークの報告・会員の近況・クラブ活動報告

あのことろ～JCDの重鎮・夏のパーティー報告・Soda 委員会活動報告・賛助会員活動報告

支部会員募集の広告・新人会員紹介など

3) 3回目(冬・春号3月中発刊予定) トクトーク・会員の近況・冬のパーティー報告・あ

のことろ～JCDの重鎮・Soda 活動報告・賛助会員活動報告・新人、支部会員紹介・賛助会員広告など。

■メディア委員会：水谷晶人委員長、中村茂雄副委員長

1) ホームページを深度化しながら、メールマガジンとの連携で更新情報の浸透性を更に活性化する。

2) メールマガジンとの連動性を高めて、Face bookページの更なる活性化を図る。

3) Face bookページへのブログ投稿も推奨して、会員の近況情報なども発信数を高める。

4) メールマガジンのFMを随時見直し、見やすく分かりやすいものに改良をして行く

5) 正会員のHP掲載数を引き続き増やし、ネットワークの連動性を更に高める。

■交流委員会：折原美紀委員長、窪田茂副委員長、雲野一鮮副委員長

今年も更にパワーアップし、会員の皆さんの学びや交流の和を広げていきたいと考えており、他団体との交流も積極的に進めていきたいと考えております。

■特別委員会：星明臣委員長

当委員会は、研修旅行の企画立案、実施が主務です。

候補地や要望などをお寄せ下さい。(他支部との連携も、念頭に・・・)

今年度は、季節的なタイミングを外さないように、9月～10月には実施出来ればと考えております。

#### ④中部支部(支部長：不破 淳二)

基本方針：

支部活動を活性化させ魅力あるデザイン協会を目指す。

現在どのデザイン団体にも加入していない、中部地区で活動している若手デザイナーの発掘と力量を知るべく、JCD中部支部デザインアワードを継続して開催。

デザインイベントやアワードを契機とした作品展示や表彰式パーティなどで交流を図り、様々な支部活動をとおして新規会員の獲得を目指す。

活動計画：

- ・各種運営活動を実施する支部会議の定例開催(月毎を原則)
- ・本部総会および理事会出席(支部より希望出席者)
- ・デザイン・トリプレックス13(JCD/SDA/DSA) 実行委員会会議
- ・中部デザイン団体協議会(CCD0) 理事会、各種委員会会議

2017

5月 ○JCD本部総会 (沖縄糸満 総会) 理事、正会員出席予定

・CCD0 ナイトトーク研修ツアー参加



- 6月 ○JCD 中部支部 総会 (本部総会報告、年度計画、年度報告)  
懇親会 : 正会員 賛助会員
- 7月 ・JCD 中部支部会議
- 8月 ○JCD 中部支部ビアパーティ  
会員設計のお店での懇親会 : 正会員 賛助会員
- 9月 ・JCD 中部支部会議  
○SODA 活動 開催予定 : 正会員 賛助会員
- 10月 ○JCD 中部アワードの開催予定 (応募活動)
- 12月 ○JCD 中部支部、忘年会 : 正会員 賛助会員

2018

- 1月 ○JCD 中部デザインアワード贈賞式&記念パーティ  
贈賞式 : 受賞作品展示 懇親パーティ等  
○北陸3団体デザインフォーラム  
受賞作品展示 : 講演シンポジウム : 懇親会
- 2月 ○デザイン・トリプレックス 13 開催  
受賞作品展示 : 講演シンポジウム : 懇親パーティ等
- 3月 ・JCD 中部支部会議

#### ⑤関西支部 (支部長: 中村裕輔)

今年度もスリム化した委員会体制で複数のミッションを達成します!

活動方針「検討から活動の年へ」

- ・新規イベントの開催 2 件
- ・会員システムの刷新
- ・Facebook の充実と更なる活用
- ・SODA 事業の拡大
- ・大学・学生との関係の強化

スケジュール

- 4月 学生向けセミナー開催 (セミナー・ポートフォリオアドバイス会・懇親会)
- 6月 支部集会開催 (賛助会員 PR 会・懇親会)
- 6月 賛助会員展示会 (セミナー・PR 会・懇親会)
- 7月 SODA 事業 住まい情報センター タイアップ事業
- 8月 ビアパーティ開催
- 9月 関西学生シンポジウムの開催
- 12月 クリスマスイベント「空間の未来へ」の開催
- 12月 4 団体連合 「日本の空間デザイン展」
- その他 デザインセンター大阪「SENBA サロン」への協力 (年間 5 回)

#### ⑥中国支部 (支部長: 深田勝哉)

29 年度の中国支部活動方針は、「デザイナーが活動するための環境創り」をテーマに、若手デザイナーたちが活動しやすい支部創りを目指します。デザイナーと地域との交流の場創り、デザイン

会議、デザインセミナー、デザインアワード、デザイン研修など様々な活動を通して、支部に関わるデザイナーにとって活躍しやすい支部を目指してまいります。

#### 29年度事業内容

○組織改革・・・会員増強と並行して若手会員が中心となって活動できるような新組織への改革を行う。

○例会活動・・・本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動予定打のち合わせ親睦活動などに加え、若手デザイナーによる新しいプログラムを検討し、デザインについての語りの場としたいと考えています。

通年・・・各地（岡山・福山・広島）での懇親会、賛助会員によるミニセミナー。

秋・・・国内外を問わず、デザイン研修旅行の計画。

冬・・・他支部との交流会「鍋塾」の計画。

4月	29年度支部総会	前年度事業報告・新年度事業計画発表・新組織発	(岡山)
5月	29年度定時総会	沖縄への参加	
6月	ランチ会議（四国支部との合同例会）	総会報告、その他	(高松)
8月	第2回JCD中国支部例会	& ビアパーティー	(福山)
10月	第3回JCD中国支部例会	& ミニセミナー	(広島)
12月	第4回中国支部例会	& 大忘年会	(岡山)
2月	第5回中国支部例会	& デザイン交流会・鍋塾	(未定)

○地域活動・・・支部の中心的事業である、「広島デザインデイズ」を地元との交流、そして広島・岡山を中心とするデザイン団体、建築・デザイン系の大学・専門学校、地元商店連合会など参加者を増やし地元根付いたデザインを中心とした交流の場活にしたいと考えます。

7月	広島デザインデイズ 2017	第一回準備委員会	(広島)
8月	広島デザインデイズ 2017	第二回準備委員会	(広島)
9月	広島デザインデイズ 2017	第三回準備委員会	(広島)
10月	広島デザインデイズ 2017	第四回準備委員会	(広島)
11月	広島デザインデイズ 2017	第五回準備委員会	(広島)
12月	広島デザインデイズ 2017		(広島)

#### ⑦四国支部（支部長：長尾勝彦）

##### 基本方針

1. JCDHP, Facebook ページをもっと活用して会員相互の交流を図ると共に一般の方にも JCD の活動を発信して新会員増強へとつなげる。
2. 第3回 SHIKOKU デザインフェュージョンを通じて他の団体との結束力をつける。
3. 古民家再生、補助事業などこれからの時代を考慮「地域に必要とされるデザイン」
4. Soda 事業を具体化できるように強化していく。
5. 会員が集まりやすい楽しい組織にする。

##### 月例行事

- 3月22日、ランチ会議 議題沖縄総会（総会参加予定12名）お花見会  
4月、お花見会、(川島猛アートファクトリー予定)

- 5月26～28日 沖縄総会出席
- 6月、ランチ会議（中国支部との合同企画、Soda 事業、多度津町並み研究会）
- 7月、第3回 SHIKOKU デザインフェュージョン実行委員会
- 8月、デザイナーズビヤパーティ開催予定（賛助企業とのコラボ）
- 9月、ランチ会議（多度津町並み研究会、Soda 事業、）
- 10月、多度津町並み研究会開催予定、中国支部合同企画
- 11月、JCD デザインアワード贈賞式、定例理事会、例会 SHIKOKU デザインフェュージョン
- 12月、合同忘年会予定 SDA, JIA, , KDA, 、ジャグダ
- 1月、第3回 SHIKOKU デザインフェュージョン（北浜アリーナ予定）賀詞交歓会、定例理事会  
専門学校穴吹デザインカレッジデザイン展後援
- 2月、愛媛にて交流会
- 3月、ランチ会議、定例理事会

⑧九州支部（支部長：原田啓二）

- (1) 4月～毎月 月例会開催
- (2) 5月 FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加
- (3) 6月 支部レクリエーション開催：有田陶芸体験
- (4) 8月 デザインスクールキャラバン委員会の参加
- (5) 10月 デザインスクールキャラバンの開催
- (6) 11月 JCD デザインアワードパネル展の開催（SDA 共同開催）
- (7) 12月 九州支部忘年会
- (8) 1月 九州支部新年会

九州支部は、NPO 法人「FUKUOKA デザインリーグ」への参加を続けながら、社会貢献や勉強会の参加や開催を行っていきます。又、会員も少しずつ増えている状況ですが、日々JCD 活動に参加いただいている会員は、固定されている様です。魅力ある JCD 九州支部を目指し、日頃参加いただけない会員にも活動参加いただけるよう、また、JCD 自体を認知いただけない方々にも、引き続き魅力のある活動を行いながら、団体を広く知って頂けるよう、活動を継続して参ります。

⑨沖縄支部（支部長：山里健市）

■29年度の活動について

5月の定時総会in沖縄の成功。

継続事項として JCD 認知度アップの為のイベントの開催や交流会を行う事で正会員・賛助会員の獲得へも繋げていきたいと思ひます。

ワークショップ(SODA)の開催について、今年度は1～2回の開催を目標とします。

■主な活動計画

- 1) 4～6月
  - ・支部定例会の開催（4月・6月）
  - ・異業種交流、夕涼みBBQの計画
- 2) 7～9月
  - ・支部定例会の開催（8月）
  - ・夕涼みBBQの開催・・・(固定の交流イベント)

- 3) 10～12 月
  - ・ S O D A (ワークショップ) の計画
  - ・ 支部定例会の開催 (10 月・12 月)
  - ・ S O D A (ワークショップ) の開催。
  - ・ トータルリビングショーへの共同参加  
(前年同様、イベント来場者の子供達と お店のミニチュア模型作り)
  - ・ JCD 沖縄 忘年会「モノズクリガンバッタ 2017」開催  
(建築・インテリア・グラフィック。各デザインに係る個人・他団体と1年を振り返って。)
- 4) 1～3 月
  - ・ 支部定例会の開催 (2 月)
  - ・ S O D A (ワークショップ) の開催。

### (3) 総務部 (部長：太細 通)

#### ①財務委員会 (委員長：太細 通)

29 年度予算は、事業活動収入 4,072 万円、事業活動支出 4,015 万円で、57 万円の黒字収支計画となります。

内訳としては、本部が 31 万円の黒字、9 支部合計で 26 万円の黒字の収支予算です。

本部の収益には職員の退職給付引当金を含んでいますので、その分を見込む必要があります。

事業活動収入において、会費収入は会員数が若干増加したので 28 年度予算より 40 万増。

事業収入は 28 年度予算に比べ総会収入が沖縄開催で各種イベント開催の参加費等増で 196 万円増、soda 委員会作成の sodabook の販売で 18 万円増等、逆に収入減は六耀社からの年鑑の著作権料が 30 万円減等です。他事業と相殺して全体で昨年度予算より 228 万円増の予算としています。

事業活動支出においては、昨年度予算に比べ増額が大きいところでは沖縄総会で 216 万円、研修会費で 60 万円、沖縄総会に伴う旅費交通費の 33 万円増が主な項目です。逆に減額は委託費が 55 万円、名簿刊行費が追補版の年であり 35 万円、デザインアワードが 2016 で会場費のコストダウンできたので 30 万円等です。他事業と合わせた事業活動支出では昨年度予算より合計 306 万円増となり、事業活動収入の 228 万円を 78 万円上回る支出増予算を組みましたのでメリハリを効かした事業の活性化をよろしくお願いいたします。

年々減少の一途でありました会員数の減も、全国賛助会員は昨年度と変わりませんが、支部賛助会員は若干増えました。正会員は支部のばらつきがありますが減少に歯止めがかかった状態です。結果会費収入が昨年度予算より 40 万円増の予算になりました。会費が事業活動の主たる源泉ですので、更なる会員増強を図ることで収入を増やさないかぎりこれから大きな事業は望めません。昨年度同様会員増のためには留保金の活用方法などを考えていく必要があるかと思えます。皆さんで知恵を絞り会員増強を図っていきましょう。

#### ②功労者選考委員会 (委員長：星 明臣)

当委員会の主務は、当協会、特別功労賞表彰規定などに則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」及び

「名誉会員・評議員」「顧問・参与」の候補者を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議する。結果、該当する候補者を、理事会に推挙します。

肝要なことは、誤謬なき・適正な推挙を心がけることです。

委員会は、昨年度、選任された8名の委員が継続し、任に当たります。

一方、JCDへの社会的認知度や、地位向上策の一環として、継続的に「国交省大臣表彰」の候補者を推薦していきたいと考えております。

尚、8名の委員は、小坂副理事長、太細専務理事、大熊監事、小田理事、奥平評議員、寒川評議員、山田評議員、星です。

### 3. その他会務に関する事項

#### (1) 功労賞表彰

平成29年度功労賞を以下の方に贈呈することを決定した。

支部功労賞受賞者

松永 高雄 氏（中国支部）

奥 弘史 氏（関東支部）

本間 克典 氏（関東支部）

#### (2) 関係機関や団体との交流、その他の事業へ後援や協賛など

公益社団法人商業施設技術団体連合会や空間デザイン機構への運営参加、新規事業及び継続して行われる各事業の後援、協賛を通し積極的かつ実のある活動を目指す。